

社会科(歴史的分野)学習指導案

日 時 令和〇年〇月〇日 (〇)
5 校時 13 : 25 ~ 14 : 15
学校名 中学校
対 象 第 3 学年 4 組 36 名
会 場 ホール
授業者 〇〇 〇〇

1 単元名

「近代の日本と世界⑤ 第一次世界大戦前後の国際情勢とその影響」

(使用教科書：「社会科 中学生の歴史」帝国書院)

2 単元の目標

- ・ 第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動き、我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に、第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解する。
- ・ 戦争に向かう時期の社会や生活の変化に着目して、事象を相互に関連付けるなどして、第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現について近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現する。
- ・ 第一次世界大戦前後の国際情勢に関心をもち、戦争により社会の変化や影響が見られた近代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を養う。

3 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① 第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動き、我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に、第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解している。	① 戦争に向かう時期の社会や生活の変化に着目して、事象を相互に関連付けるなどして、第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現について近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	① 第一次世界大戦前後の国際情勢に関心をもち、戦争により社会の変化や影響が見られた近代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

4 指導観

(1) 単元観

本単元は、中学校学習指導要領(平成29年3月告示)第2章第2節社会第2各分野の目標及び内容 歴史的分野の2 内容Cの(1)、3 内容の取扱い(4)アについて取り扱ったものである。その内容と内容の取扱いについては、次のように示されている。

2 内容

C 近現代の日本と世界

(1) 近代の日本と世界

課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識を身に付けること。

(イ) 第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現

第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動き、我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に、第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解すること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 工業化の進展と政治や社会の変化、明治政府の諸改革の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響、経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、アの(ア)から(カ)までについて近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現すること。

(イ) 近代の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現すること。

3 内容の取扱い

(4) 内容のCについては、次のとおり取り扱うものとする。

ア (1)のアの(イ)の「第一次世界大戦」については、世界に戦渦が広がった背景や、日本の参戦、ロシア革命なども取り上げて、世界の動きと我が国との関連を踏まえて取り扱うようにすること。「我が国の国民の政治的自覚の高まり」については、大正デモクラシーの時期の政党政治の発達、民主主義的な思想の普及、社会運動の展開を取り扱うようにすること。

この中項目では 19 世紀ごろから 20 世紀前半までの我が国の歴史を扱い、我が国の近代の特色を、18 世紀ごろからの世界の動きとの関連を踏まえて課題を追究したり解決したりする活動を通して学習することをねらいとしている。そして本単元は、第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きについての知識を身に付け、民族運動の高まりや我が国の国民の政治的自覚の高まりに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、第一次世界大戦後の世界と我が国の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現する力を身に付けることを目標としている。

その際、「日本の参戦」、「ロシア革命」などを基に、世界の動きと我が国との関連を踏まえて取り扱うようにし、大戦がその後の国際情勢及び我が国に大きな影響を及ぼしたことに気付くことができるようにする。また、我が国の国民の政治的自覚の高まりを理解するために、米騒動をはじめとして労働運動、農民運動、社会主義運動などの社会運動が幅広く行われるようになったこと、女性の社会的進出が進んだことに気付くことができるようにする。その上で、第一次世界大戦後の各国の影響を比較したり、国内の社会運動を考察し世界の動きと関連付けたりするなどの見方・考え方を働かせられるような課題を設定する必要がある。

以上のことから、本単元では「民族運動の高まりや我が国の国民の政治的自覚の高まり」に着目して第一次世界大戦後の世界と我が国の社会の変化の様子を理解できるように、「なぜ第一次世界

大戦が起こると、大正時代の日本で民主主義の動きが高まったのだろうか」という大きな問いを投げかけ、第一次世界大戦後の世界と我が国の社会の変化の様子について「政党政治の発達」、「民主主義的な思想の普及」、「社会運動の展開」という視点を世界の動きと関連させて考えさせる。そうすることで生徒たちは、世界の動きと我が国との関連を捉えやすくなり、この中項目で取り扱う近代の日本と世界の事象を相互に関連付けて考察させることができると思う。そして、「なぜ第一次世界大戦が起こると、大正時代の日本で民主主義の動きが高まったのだろうか」という問いに答える中で、世界の動きと我が国との関連について多面的・多角的に考察し、自分の言葉で表現できることを目標とする。

(2) 生徒観

第3学年4組は、社会科の授業に対して静かに話を聞くなど真面目に取り組む生徒が多いが、挙手して発言するなど積極的に意見を出し合おうとする生徒はあまり多くない学級である。学年全体の生徒の実態を把握するために4月初めに「近代の日本と世界」について事前アンケートを実施した。有効回答数は231である。主な質問項目と第3学年のアンケート結果は、以下のとおりである。

質問項目1：あなたは「第一次世界大戦」に興味や関心がありますか。

質問項目1に対する生徒の回答は、「ある」が87名で全体の37.7%、「少しある」が102名で全体の44.2%で、肯定的な意見の生徒の合計は189名で81.9%だった。また、「あまりない」は33名で全体の14.3%、「全くない」が9名で全体の3.9%で、否定的な意見の生徒の合計は42名で18.2%であった。この結果から「第一次世界大戦」に対して、多くの生徒が興味・関心をもっていることが分かった。

質問項目2：あなたは「大正時代の政治」に興味や関心がありますか。

質問項目2に対する生徒の回答は、「ある」が45名で全体の19.5%、「少しある」が99名で全体の42.9%、「あまりない」は68名で全体の29.4%、「全くない」が19名で全体の8.2%であった。質問項目1と比較して肯定的な意見の生徒が少ないが半数は超えていた。

質問項目3：あなたが「第一次世界大戦」や「大正時代の政治」について知っていることを教えてください。（複数回答可）

第一次世界大戦				大正時代の政治			
サラエボ事件	12名	新兵器について	4名	大正デモクラシー (第一次護憲運動)	14名	原敬	1名
ヨーロッパで起こった	8名	ベルサイユ条約	1名	期間が短い	5名		
日本が勝った	7名	第二次世界大戦との混同による誤答	4名	普通選挙法 (+治安維持法)	3名		
三国協商・三国同盟	5名			鬼滅の刃の時代	2名		

以上のように、「第一次世界大戦」や「大正時代の政治」に対する興味・関心が高いにもかかわらず質問項目3で具体的な知識を記述できた生徒が2割に満たず、多くの生徒がわからない、覚えていないと記述している。理由として、「第一次世界大戦」や「大正時代の政治」については、小学校学習指導要領によると小学校第6学年では取り扱わない内容であるため、ほぼ初見の生徒が多

いと考えられる。しかし、「大正時代」についての記述では、短い時代であったことや漫画等で時代の様子のイメージをもっている生徒もいる。

したがって、取り扱う時代の様子をイメージできていない生徒が多いため、当時の具体的事象についての知識を獲得させることと、事象相互の関係性を生徒が把握しやすいように工夫する必要があることが分かった。

以上のことから、本単元では第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きについての知識を身に付け、民族運動の高まりや我が国の国民の政治的自覚の高まりに着目させるために、「なぜ第一次世界大戦が起こると、大正時代の日本で民主主義の動きが高まったのだろうか」という大きな問いを投げかけ、世界の動きの中における日本の社会の動きを多面的・多角的に考察させる。そして、次の単元で学習する「第二次世界大戦と人類への惨禍」につながるように、第一次世界大戦後に国際平和への努力がなされたこととその不十分さを理解できるように指導する。

また、昨年度までの学習で Google Jamboard を活用した意見共有とその内容を活かした授業のまとめを行ってきた。事前アンケートにおいて、この活動が「学習の役に立っているか」と質問したところ、62.6%に当たる 144 名が「役に立つ」、33.9%に当たる 78 名が「やや役に立つ」と 9 割を超える生徒が有用性を感じていることがわかった。これまで学習し獲得した知識・技能を活用して表現する活動として、パフォーマンス課題を設定し評価してきたが、その生徒の多くが単元のまとめのパフォーマンス課題に取り組む際に Google Jamboard が「役に立つ」とコメントしていたため、本単元でも工夫・改善しながら ICT を活用していく。

(3) 教材観

単元観、生徒観を踏まえて本単元では、生徒が単元全体の構造を把握し、単元を見通した問いに毎時間立ち返って振り返りができること、また、既習事項を活かしてまとめの活動としてのパフォーマンス課題に取り組むことができるようになることを目指して、「単元見通シート」を使用する。

「単元見通シート」の詳細については後述するが、これを利用することで単元を見通した問いへの粘り強い学習姿勢や生徒一人一人の自己調整力などの「学びに向かう力」の育成を目指す。

また、本時の授業では第一次世界大戦が起こった理由、またその大戦の国内外への影響を相互に関連付けて考察できるように知識構成型ジグソー学習を取り入れる。これにより、自分の立場の主張を根拠づけて説明するだけでなく、相手の考えを取り入れることで、第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと、民族運動の高まりや我が国の国民の政治的自覚の高まりへの影響について多面的・多角的に考察させ、本単元の内容がより主体的・対話的で深い学びとなることを目指す。

授業においてはワークシートの使用を中心に進め、授業終了後にノート見開きの左側にワークシートを貼り付けるように指導している。ノートの右側には板書の内容や課題に対する他者の意見をメモ書きさせることによって、授業の内容を自身の言葉でまとめられるスペースを確保している。ワークシートの作成の際は、板書を写す時間を短縮し生徒の考える時間を確保すること、重要語句を整理しやすいこと、グループ活動の成果が書かれたものを事後に見直すことで知識が定着することの 3 点に留意してワークシートのレイアウトを工夫し作成する。

5 年間指導計画における位置付け

《3 学年 歴史的分野：年間 40 時間》

(1) 近代の日本と世界

エ 近代産業の発展と近代文化の形成（6 時間扱い）

オ 第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現（10 時間扱い）・・・《本時を含む単元》

カ 第二次世界大戦と人類への惨禍（10 時間扱い）

(2) 現代の日本と世界

ア 日本の民主化と冷戦下の国際社会（8 時間扱い）

イ 日本の経済の発展とグローバル化する世界（6 時間扱い）

6 単元の指導計画と評価計画（全 10 時間）

単元を見通した問い 「なぜ第一次世界大戦が起こると、大正時代の日本で民主主義の動きが高まったのだろうか。」			
	目標	○学習内容・学習活動	評価規準（評価方法）
第 1 時	第 1 時～第 3 時の問い 「なぜ第一次世界大戦は始まったのだろうか。」		
	第一次世界大戦が始まったことに関心をもち、第一次世界大戦開戦の背景についての知識を身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本単元の学習の見通しをもつ。 ・ 「単元見通シート」で各時間における学習とまとめのパフォーマンス課題について把握し、「なぜ第一次世界大戦が起こると、大正時代の日本で民主主義の動きが高まったのだろうか」という問いについて既習事項を基に予想を立てる。 ○ 第一次世界大戦が開戦した理由を考える材料を資料から読み取る。 ・ 「オーストリアが宣戦布告した理由」、「ドイツが参戦した理由」、「ロシアが参戦した理由」、「イギリス・フランスが参戦した理由」についての資料を分担して、開戦の理由を考える材料を収集する。 	アー①（机間指導・ワークシート） ウー①（単元見通シート） ※ウの観点については、単元の最後に変容を見取るために評価を行うとともに、学習改善につなげていく。

第2時 【本時】	第一次世界大戦開戦の原因を考察する。	○ 第一次世界大戦が開戦した原因を考察する。 ・ 前時の学習を基に、グループごとに開戦の原因を考える。 ・ 次の授業で説明する準備を行う。	イー① (机間指導・ワークシート・Jamboard)
第3時	第一次世界大戦開戦の理由を考察する。	○ 第一次世界大戦が開戦した理由を考察する。 ・ 前時の学習内容を、グループごとに発表する。 ・ 「なぜ第一次世界大戦は始まったのだろうか」の答えをグループごとに考え、意見共有する。 ・ 問いの答えを考え、「単元見通シート」に記入する。	イー① (机間指導・ワークシート・Jamboard)
第4時～第6時の問い 「第一次世界大戦は世界にどのような影響を与えたのだろうか。」			
第4時	第一次世界大戦の影響に関心を持ち、第一次世界大戦後の歴史的事象についての知識を身に付ける。	○ 第一次世界大戦が世界に与えた影響を考える材料を資料から読み取る。 ・ 「ロシア革命」、「パリ講和会議」、「軍縮への動き」、「民族運動」についての資料を分担して、第一次世界大戦の世界への影響を考える材料を収集する。	アー① (机間指導・ワークシート) ウー① (単元見通シート) ※ウの観点については、単元の最後に変容を見取るために評価を行うとともに、学習改善につなげていく。
第5時	第一次世界大戦の世界への影響を考察する。	○ 第一次世界大戦の世界への影響を考察する。 ・ 前時の学習を基に、グループごとに世界への影響を考える。 ・ 次の授業で説明する準備を行う。	イー① (机間指導・ワークシート・Jamboard)

第6時	第一次世界大戦の世界への影響を多面的・多角的に考察する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第一次世界大戦の世界への影響を、様々な視点から考察する。 ・ 前時の学習内容を、グループごとに発表する。 ・ 「第一次世界大戦は世界にどのような影響を与えたのだろうか。」の答えをグループごとに考え、意見共有する。 ・ 問いの答えを考え、「単元見通シート」に記入する。 	イー① (机間指導・ワークシート・Jamboard)
第7時	<p>第7時～第9時の問い</p> <p>「第一次世界大戦は日本にどのような影響を与えたのだろうか。」</p>		
	大正時代の日本の政治や社会に関心を持ち、大正時代の歴史的事象についての知識を身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第一次世界大戦が大正時代の日本に与えた影響を考える材料を資料から読み取る。 ・ 「シベリア出兵」、「男子普通選挙」、「社会運動」、「文化の大衆化」についての資料を分担して、第一次世界大戦の日本への影響を考える材料を収集する。 	<p>アー① (机間指導・ワークシート)</p> <p>ウー① (単元見通シート)</p> <p>※ウの観点については、単元の最後に変容を見取るために評価を行うとともに、学習改善につなげていく。</p>
第8時	第一次世界大戦の日本への影響を考察する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第一次世界大戦の日本への影響を考察する。 ・ 前時の学習を基に、グループごとに世界への影響を考える。 ・ 次の授業で説明する準備を行う。 	イー① (机間指導・ワークシート・Jamboard)

第9時	第一次世界大戦の日本への影響を多面的・多角的に考察する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第一次世界大戦の日本への影響を、様々な視点から考察する。 ・ 前時の学習内容を、グループごとに発表する。 ・ 「第一次世界大戦は日本にどのような影響を与えたのだろうか。」の答えをグループごとに考え、意見共有する。 ・ 問いの答えを考え、「単元見通シート」に記入する。 	イー①(机間指導・ワークシート・Jamboard)
第10時	<p>本時の問い</p> <p>「なぜ第一次世界大戦が起こると、大正時代の日本で民主主義の動きが高まったのだろうか。」</p>		
	<p>単元の学習を活かして、第一次世界大戦により社会の変化や影響が見られたか考察し、大正時代の日本で民主主義の動きが高まった理由を基に、近代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する態度を養うとともに、自分の考えを表現する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元を見通した問いの答えを考える。 ・ 単元の学習を振り返り、単元を見通した問い「なぜ第一次世界大戦が起こると、大正時代の日本で民主主義の動きが高まったのだろうか」の答えを考える。 ○ パフォーマンス課題に取り組む。 ・ 単元を見通した問いの答えを基に、近代の日本と世界の特色をまとめる。 	イー①(ワークシート・単元見通シート) ウー①(単元見通シート)

7 指導に当たって

(1) 「単元見通シート」について

このワークシートは、単元の指導計画を作成する際に、単元の内容や時間のまとまりを見通した「単元を見通した問い」を設定し、各授業において「社会的な見方・考え方を働かせることができる問い」に答えることでその授業の内容を毎時間まとめ、単元の最後にそれまでの記述内容を基に「単元を見通した『問い』」に答える、という流れで単元を「問いによって構造化したものである。

この「単元見通シート」を作成・使用することによって、授業者は生徒が「単元を見通した問い」を解決するために、「社会的な見方・考え方を働かせることができる問い」を単元全体で構造的に

配置し、単元を可視化することができる。また、生徒は、見通しをもって授業に臨むことができるとともに、社会的な見方・考え方を働かせて解答する「問い」によって単元が設計されているため、単元のまとめを行う際に多面的・多角的な考察や構想が可能となると考えられる。このように「単元見通シート」は、授業者と生徒の双方が単元や内容のまとまりを意識して学習に取り組むことができるようになることを目的として作成したものである。

【参考文献】

平成 30 年度 東京都教育研究員 中学校社会科報告書「社会的な見方・考え方を働かせた思考力、判断力、表現力等の育成を目指して～社会的な見方・考え方を働かせることができる「問い」の工夫～」東京都教育委員会、2019 年

(2) パフォーマンス課題について

パフォーマンス課題とは、実際的な文脈の中で、様々な知識や技能を応用・総合しつつ何らかの実践を行うことを求める課題である。具体的には、レポートや新聞といった完成作品や、プレゼンテーションなどの実技・実演を評価する課題である。一般的な筆記テストは知識について何を覚えているかを測ることに適しているが、パフォーマンス課題ではその知識や技能を使いこなす能力を測ることができる。

【参考文献】

西岡加名恵・田中耕治編著『「活用する力」を育てる授業と評価・中学校』学事出版、2009 年
 中野英水『パフォーマンス課題を位置づけた中学校社会の単元&授業モデル』明治図書出版、2019 年
 西岡加名恵・石井英真『教科の「深い学び」を実現するパフォーマンス評価』日本標準、2019 年

8 本時（全 10 時間中の第 2 時）

(1) 本時の目標

- ・第一次世界大戦開戦の原因を考察する。

(2) 本時の展開

時間	○学習内容 ・ 学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価規準（評価方法）
5 分	○前時までの内容を振り返る。 ・ 分担した 4 つのテーマを確認する。 ・ 本時の課題を確認する。	・ 4 つのテーマを板書する。 (ワークシートを配布する)	
本時の課題「同じテーマの人と意見交換して、担当テーマについての問いの答えを考えよう」			
展開 ① 10 分	○ 考察するための情報交換を行う。 ・ 前時の学習で収集した材料を発表し合い、Jamboard に入力していく。	・ 意見交換がスムーズに行えるよう、机間指導する。	

展 開 ② 10 分	○ 第一次世界大戦が開戦した原因を考察する。 ・ Jamboard の内容を基に、グループごとに担当したテーマの問いの答えを考える。	・元のグループに戻って発表できる内容になるよう、机間指導を行って支援する。	
展 開 ③ 10 分	○ 考察した内容を文章化する。 ・ グループごとに考えた内容を、テーマごとの問いの答えとなるよう協議する。	・机間指導やJamboardの確認で進捗状況を把握する。	イー① 収集した資料から、第一次世界大戦開戦の原因を考察することができている。 (机間指導・ワークシート・Jamboard)
展 開 ④ 10 分	○ 次の授業での発表の準備を行う。 ・ Jamboard を活用して、次の授業で説明する準備を行う。	・誰でも同じように説明ができるようになるために、フォローし合うように指導する。	
ま と め 5 分	○ 次の授業の確認をする。 ・ 本時で学習したことを振り返り、次回、自分のグループで発表することを確認する。		

(3) 板書計画

<p>② なぜ第一次世界大戦は起こったのか?②</p> <p>A 「なぜオーストリアは宣戦布告したのだろうか」</p> <p>B 「何が目的でドイツは参戦したのだろうか」</p> <p>C 「何が目的でロシアは参戦したのだろうか」</p> <p>D 「何が目的でイギリス・フランスは参戦したのだろうか」</p>	<p>※スクリーンにプレゼンテーションソフトを用いて作成したスライドを提示する。</p>
---	--

(4) 授業観察の視点

- ・ 本時の学習内容は、本時の目標及び単元の目標を達成する上で適切な内容であったか。
- ・ 本時の学習内容は、「主体的・対話的で深い学び」の視点から見て適切な内容であったか。
- ・ グループワークの活動や課題が、本時の目標を達成するために適切な内容であったか。
- ・ ICTの活用場面は、本時の目標及び単元の目標を達成するために適切であったか。
- ・ 「単元見通シート」は、「主体的・対話的で深い学び」の視点から見て適切な教材であったか。